

保護者の皆さまへの情報

重症先天性心疾患（Critical Congenital Heart Disease, CCHD）

パルスオキシメータによるCCHDのスクリーニング

新生児スクリーニングとは何ですか？

新生児スクリーニング検査とは、赤ちゃんにすぐに治療が必要な重篤な健康上の問題があるかどうかを調べるための簡易な検査のことです。

重症先天性心疾患とは何ですか？

重症先天性心疾患はひとつの病状です。この疾患は、赤ちゃんの心臓や心臓周辺の主要な血管が適切に形成されない場合に起こります。これによって心臓の働きが悪くなり、血液中の酸素が不足します。

なぜ新生児に対するCCHDのスクリーニング検査が重要なのでしょうか？

心臓に欠陥のある赤ちゃんでも、はじめは健康に見える子もいます。もしこうした赤ちゃんが検査を受けずに退院すると、重篤な状態になったり死亡したりする危険性があります。

CCHDのスクリーニング検査法

スクリーニング検査の一環として、パルスオキシメトリーと呼ばれる検査が行われます。これは「pulse ox」とも呼ばれます。この検査は危険な心臓疾患の早期発見に有用です。検査では、赤ちゃんの血液中の酸素量と脈拍数を測定します。

パルスオキシメトリーは迅速で簡単、また痛みはありません。小さく柔らかいセンサーを赤ちゃんの手に巻き付けたり、足に装着したりして行います。新生児スクリーニングの一環として、ニューヨーク州で生まれたすべての赤ちゃんは、生後24時間後にパルスオキシメトリー検査を受け、CCHDの兆候がないかを確認します。母親の胎内から出て赤ちゃんの心臓と肺が外界に完全に適応するまで、生後24時間待って検査します。

パルスオキシメーターの測定値が低い場合はどうなりますか？

赤ちゃんによっては、パルスオキシメーターの測定値が低い（酸素飽和度が低い）場合があります。担当医が、さらに検査が必要かどうかを判断します。赤ちゃんには、X線検査、心電図検査（「EKG」）、超音波検査が必要になる可能性があります。心臓の超音波検査は、心エコー検査または心臓超音波検査と呼ばれます。

担当の医師は、赤ちゃんを小児心臓専門医（循環器専門医）などの専門医に紹介する場合があります。

酸素濃度が低いからといって、必ずしも赤ちゃんがCCHDであるとは限りません。健康な赤ちゃんでも、出生後に心臓や肺が順応する過程で、酸素濃度が低く測定されることがあります。赤ちゃんの検査結果がこのようになる原因として、他にもさまざまな状態が考えられます。

親はどのようなことを知っておくべきでしょうか？

パルスオキシメトリー検査で異常がなかった赤ちゃんのほとんどは、CCHDの兆候を示しません。親御さんは、唇や皮膚が青紫色になる、呼吸時にのどから音が鳴る、呼吸が速い、鼻孔が広がる、ミルクの飲みが悪い、極端に眠そうにしている、体重が増えないなどの兆候がないか注意深く観察してください。これらの兆候が一つでも見られた場合は、すぐに赤ちゃんの主治医に連絡してください。

CCHDの新生児スクリーニングについてさらに質問があるときは、誰に問い合わせればよいですか？

新生児スクリーニングについては、赤ちゃんの担当医療機関にお問い合わせいただくか、以下のウェブサイトをご覧ください。

アメリカ疾病管理予防センター（Centers for Disease Control and Prevention）

cdc.gov/heart-defects/screening

ニューヨーク州保健局（New York State Department of Health）

health.ny.gov/community/infants_children/critical_congenital_heart_disease_screening/